

# 令和9年度入学者選抜から変わる

(主に令和6年度の中学校1年生が受検する入学者選抜)

## 埼玉県公立高等学校の

# 入学者選抜制度について紹介します

### 自分を知る



調査書の様式変更と  
自己評価資料の提出

### 自分を表現する



面接をすべての  
受検生に実施

### 主体的に 高校を選択する



選抜の特色化

令和6年12月  
埼玉県教育委員会

# 中学校1年生の皆さんへ

皆さんが社会で活躍する頃には、厳しい挑戦の時代となることが予想されています。グローバル化や技術革新など社会構造は急速に変化し、将来を見通すことが難しい時代を迎えています。このような時代では、様々な変化に積極的に向き合い、課題を発見し、他者と協働して課題を解決していく力や、様々な情報を見極め、知識を概念的に理解し、情報を再構築して新たな価値に繋げていく力、複雑な状況や変化の中で目的を再構築をすることができるような力も求められています。皆さんには、学校内外での様々な活動を通して、こうした力を育み、どのような社会になっても、自らの幸せを実現できる、そして多様な人々と協力しながら、より良い未来を創っていきける人に育ってほしいと思います。そんな願いを込めて、令和9年度入学者選抜を実施します。



## 01 調査書の様式変更と自己評価資料の提出 #自分を“探究”しよう

中学生の学校内外における活動の多様化 → 調査書とともに、自己評価資料を全受検生が提出します。

調査書 …中学校が作成

自己評価資料 …受検生が作成



学習の成果は調査書に!



「各教科の学習の記録」(9教科5段階の評定)  
「総合的な学習の時間の記録」が記載されます。

学校内外での取組内容は自己評価資料に!



部活動や委員会活動、資格取得など、学校内外での活動やその意欲などを、自らの言葉で表現して記入します。 ※面接で参考にします。

## 02 面接をすべての受検生に実施 #自分の“思い”を言葉にしよう

- ・実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」
  - ・未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」
  - ・学んだことを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力、人間性等」
- 3つの資質・能力を総合的に評価するために、**学力検査(国・数・社・理・英)**とともに、**面接を全受検生に実施します。**

### ◆具体的にどのような面接が行われるの?

- ・個人面接 or 集団面接 (各高校が選択)
  - ・「共通の評価の観点・評価規準」に基づいて、評価します。
- ※各高校が学校独自の項目を設定して、評価の観点及び評価規準を定めて評価する場合があります。

### 《共通の評価の観点と評価基準》

#### 1 主体的・協働的な学びの力

これまでの自身の活動を振り返りながら持続可能な社会の創り手となるために主体的・協働的に学び続ける意欲をもって

#### 2 自らの人生や社会の未来を切り拓く力

自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を価値のある存在として尊重しながら自らの人生や社会の未来を切り拓こうとしているか。



### ◆面接では何を話せばよいの?

受検生の皆さんが、これまでの自分の体験を振り返り、力を注いだことや努力をしたこと、また高校入学後や将来取り組んでみたいこと、自己PRなどについて、自己評価資料にまとめ、面接で自らの言葉で表現してください。



受検生が興味・関心を持って主体的に進路選択できるよう、各高校が「入学者の受入れに関する方針」（アドミッション・ポリシー）に基づいた選抜を実施します。



## 選抜を特色化（共通選抜と特色選抜を導入）



### ◆受検する高校はどのように決めたら良いの？

興味のある高校の特色と、その高校の設定した選抜方法（選抜実施内容）を見て、自分の資質・能力を生かすことができる、成長させることができるような学校を選んでみてください。

### ◆共通選抜と特色選抜では、何が違うの？

#### 共通選抜

各高校は、県が定める次の方法によって、選抜資料の得点を算出します。

- ・学力検査 1教科100点（国数社理英）、合計500点満点
- ・調査書 各高校は、9教科5段階の評定を  
1年:2年:3年=1:1:1 or 1:1:2 or 1:1:3  
のいずれかを選択  
→この基本点を、200 or 300 or 400点満点に換算
- ・面接 各高校は、30点 or 60点のいずれかを選択

#### 特色選抜

学科、コース等の特色に応じて、各高校が定める方法で、選抜資料の得点を算出します。

- ・学力検査 1教科100点（5教科）合計500点満点を基本点  
3教科まで150 or 200点で傾斜配点が可能
- ・調査書 評定の各学年の比率（1年:2年:3年）、得点は各高校が定める
- ・面接 得点は、各高校が定める
- ・特色検査=実技検査 or 作文(小論文)  
実施する場合は、学力検査・調査書・面接に加えて資料とする

選抜を、共通選抜のみで実施するか、特色選抜のみで実施するか、共通選抜と特色選抜の両方を組み合わせて実施するかは、**各高校が決定します。**

## 《選抜実施内容》

「選抜実施内容」とは、各高校が学科、コースでの目指す学校像や、入学者の受入れに関する方針を実現するために、どのような選抜方法にするかを定め、事前に公表するもの。  
令和7年12月、県HPで公表予定。



別紙3-3 令和9年度埼玉県公立高等学校入学選抜実施内容												
特色・共通						共通選抜						
全日制	埼玉県立●●高等学校						○○科・▼▼科・□□科					
目指す学校像	●●●を育む学校											
入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)	●●●を主体的に取り組み、●●●に全力で取り組む生徒											
募集学科等【人数】	○○科・▼▼科・□□科						①特色	60%	【100人】	②共通	40%	【100人】
選抜の種類	特色選抜						共通選抜					
学力検査	国語・社会・数学・理科・英語の5教科 国語(200点) 社会(150点) 英語(200点) で傾斜配点を実施 数学と英語は、学校選択問題を実施する						国語・社会・数学・理科・英語の5教科					
調査書	学年間の比率	1年	2年	3年	基本点	学年間の比率	1年	2年	3年	基本点		
		1	2	3	270		1	1	1	135		
特色検査	実施する 実技(体育系)											
選抜資料配点	学力検査	調査書	面接	特色検査	合計	学力検査	調査書	面接	特色検査	合計		
	750	400	90	400	1640	500	300	60		860		

共通選抜と特色選抜の両方を実施する高校の例

共通選抜と特色選抜の入学許可候補者の人数割合

学力検査の教科の得点  
学校選択問題の有無  
(特色選抜では傾斜配点の有無)

調査書の評定の各学年の比率  
基本点  
※評定は各学年9教科5段階の45点満点

学力検査・調査書・面接・特色検査の得点の合計

※学力検査の基本点×1.5 ≥ 調査書の得点+面接の得点  
学力検査の基本点+調査書の得点+面接の得点 ≥ 特色検査の得点

## 《選抜の手順》

### 共通選抜及び特色選抜の両方を実施する場合

特色選抜⇒共通選抜の順に選抜

### 共通選抜のみ又は特色選抜のみを実施する場合

- ・第1次選抜、第2次選抜を設定
- ・第1次選抜と第2次選抜では、複数の尺度に基づく異なる選抜方法を実施し、得点の取扱いに差を設ける。

**Q 新しい入試制度に向けて、どのような準備をすれば良いですか？**

A 中学校生活では、中学生の皆さん自身が、主体的に自分のやりたいことや日々の学習、行事などの中学校での活動、学校外での活動等に積極的に取り組んでもらいたいと考えています。その取り組んできた過程（プロセス）があることで、自分に自信が持てるようになり、自己肯定感が上がったり、将来の夢が見つかったりすると思います。入試は、中学校生活の延長線上にあります。決して実績のあることばかりではなく、なぜその活動に取り組んだのか、そこから何を学び、成長できたのかを深く考え、自分の言葉で具体的に表現できる力を身に付けることで、それが入試、その先の高校生活にも繋がります。

**Q 面接に向けては、どのような準備をすれば良いですか？**

A 面接では、これまでの体験を振り返り、力を注いだことや将来取り組んでみたいことなどを、自らの言葉で表現してもらいます。そのため中学校では、様々な学習や諸活動等に積極的に取り組みながら、キャリアパスポートなどを活用して、自身の取組を積み重ね、常日頃から自己を探究し、自分を表現できるようにしてください。

**Q 人前で話すことが苦手です。面接で不利になるのではないかと心配です。**

A 話し方を評価するわけではありません。中学校3年間での自分自身の取組を、自分の言葉で自分なりに表現してください。

**Q 自己評価資料は評価してもらえないのですか？また、どんなものを参考に書いたら良いですか？**

A 自己評価資料そのものは評価しません。面接を行う際、補助的に参考とし、文章の上手い下手や多い少ない、部活動等で収めた結果や文字の上手い下手は、評価の対象となりません。自分自身で積み重ねた資料やキャリアパスポートなどを参考に、これまで頑張ってきたこと、自分の興味があること、将来の夢など、自分の「これまで」と「これから」を振り返り、整理しながら記入することが考えられます。

**Q 部活動や生徒会活動、資格取得等の実績は、どのような扱いになりますか？**

A 中学生の学校内外における活動が今後ますます多様化することから、新しい制度では、受験生が自らの言葉で表現して記載した自己評価資料を参考に面接を実施し、そこで実績そのものではなく、実績に至るまでの過程（プロセス）や意欲、身に付いた力、学びに向かう力などを評価します。

**Q 新しい入試の情報は、どのように調べられますか？**

A 以下の、県ホームページに新しい制度の情報を掲載しています。随時更新予定です。  
・「令和9年度埼玉県公立高等学校入学者選抜に関する情報」  
<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2208/nyushi/r9nyushijyoho.html>

**Q 各高校の情報は、どのように調べられますか？**

A 県ホームページにて、各高校のホームページ等の情報をまとめて掲載しています。  
・県立学校の活性化・特色化方針【県立学校魅力発信サイト】  
<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2219/gakkouhousin.html>



また、InstagramやX、Facebookの教育委員会SNS公式アカウントにて、教育に関する最新情報も発信しています。  
・「教育委員会SNS公式アカウント」

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e2202/kyouikusns/touroku.html>



お問い合わせ

埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課

☎ 048-830-6760

✉ a6760@pref.saitama.lg.jp

埼玉県公立高等学校入学者選抜情報

入試全般の情報はこちら 